

委員会レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

行政視察の結果を報告いたします

《議会運営委員会》

委員長 岡田 晴雄

10月9～10日

●調布市議会改革検討代表者会議の内容と議会改革について

視察先…東京都 調布市
調布市議会では、テーマの決定や協議の中で提言や提案のとりまとめ方について、どのように提案され、協議、決定し、議員への周知をどのように進めていたのかを視察した。議会改革の取り組みの中で、調布市議会改革検討代表者会議を設置し協議をしているとのことでした。会議の進め方としてテーマや意見は先ず会派内で協議がされ、集約されたテーマや意見を調布市議会改革検討代表者会議の中でそれぞれ発言し、それを座長が座長案として取りまとめる。次に座長案を調布市議会改革検討代表者会議において協議検討して合意に至ったものから、速やかに実施しているとのことでした。議員への周知は議員全員を対象に報告会を開催し、周知徹底を図っているとのことでした。

●決算審査と事務事業評価の連動について

●決算審査の結果を次年度の予算編成に反映させる取り組み

視察先…東京都 多摩市
多摩市議会では、6月定例会に設置される予算決算特別委員会の各分科会で評価施策を決定し、その施策の中から事業を選定し、事業評価を行う。次に事業評価を基に施策評価を行い、評価を確定。議会は市長に議会の評価を提出し、次年度予算説明時に評価に対する行政側の意見を受け取る。その内容を分科会で協議し、予算決算特別委員会の中で質疑が行われているとのことでした。



《百里基地対策特別委員会》

委員長 栗原 繁

10月11～12日

●航空自衛隊基地の運用態様と現況視察

視察先…航空自衛隊小松基地
石川県 小松市
小松基地は、我が国が警戒に重きを置くべき、日本海側唯一の戦闘機部隊が所在する基地であり、対領空侵犯措置の任務を与えられ、国籍不明機の警戒にあたっているとのことでした。視察に際しては、基地の概要（歴史、環境、地域との関わり等）について説明を受け、基地内の施設及び救難隊の装備、飛行隊所属航空機についての視察及び詳細な説明を受けました。



●特定防衛施設周辺整備調整交付金及び再編関連訓練移転等交付金を活用した事業について

視察先…石川県 小松市
小松市は、石川県の加賀地域の中心的な役割を担うまちという位置づけであり、小松市役所の西側には小松基地が配置されています。小松市の人口の31%が騒音区域内で生活をしている状況とのことでした。また、小松基地は百里基地と同様に民衆との共用の基地となっており、防衛省補助金・交付金等の実績としては、昭和35年の小松基地開設から平成29年度までの58年間に1638億円を使用しているとのことでした。交付金の実績の特徴は、交通施設関連で、融雪装置や除雪車といったものがありました。また、不育治療補助や不妊治療補助など医療に関する事業にも活用しているとのことでした。小松市は、交付金の活用について、法令等の定める基準に従い、効率的に運用していました。

《広報委員会》

委員長 平野 和

11月8・9日

●議会の広報活動について

視察先・栃木県 栃木市
栃木市議会では議会だよりの発行について、編集体制、編集方法の説明を受けました。なかでも、独自の取り組みとして、写真アドバイザーとして2名を委嘱しており、写真の選考や写真の撮り方などに助言をいただいているとのことでした。また、モニターアンケートを実施し、紙面構成の参考としているなど、市民の中からも紙面づくりに協力をお願いし、読んでいただく側の意見を取り入れ、より読んでもらえる紙面づくりを目指しており大変参考となりました。また、議会報告会や意見交換会の取り組みについても説明を受け、実施の仕方やルール作りの点でも参考となるところが多くありました。

●議会中継について

視察先・群馬県 渋川市

渋川市議会では、平成25年6月から開始している議会中継について視察を行いました。

議会中継導入の経過から運用状況について説明を受け、使用している機器等も見学させていただきました。設備の導入については低予算での導入を目指し努力した点や、中継開始後の視聴率の向上を目指しながらも、多くの方が議会に傍聴に来ていただいている点など、参考とするところがありました。また、録画配信の映像については、委託業者にて編集作業を行い、閉会後2週間以内に録画配信しているとのことでした。



《地方創生推進特別委員会》

委員長 宮内 守

11月12・13日

●地方創生の現状と取組

視察先・中央合同庁舎8号館

千代田区 永田町

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 参事官補

佐 高野 伸 氏より、国の「地方創生の現状と取組」について、データを活用して日本

の総人口の長期的推移と将来推計、人口の動向、加えて茨城県及び行方市の状況について講義を受けました。国の取り組みとして、総合戦略の中間年を迎え総点検を踏まえて、地方・東京圏の転出入均衡という基本目標をはじめとする各基本目標の達成を目指す、ライフステージに応じた地方創生の充実や強化に取り組んでいる様子が伺えた。多くの施策の事例紹介があったが、行方市の地域実情を改善する市民全体の発想が求められており真摯に活動していきたい。

●行方市の地方創生の検証と今後の方向性

視察先・衆議院第二議員会館

千代田区 永田町

「行方市の地方創生の検証と今後の方向性」について、市企画部長より説明を受けた。内容は、「総合戦略書」を中心とした市政運営体制について、行方市総合戦略実施計画、行方市公共施設再編に向けた展開プログラム、行方市経営戦略について、行方市総合戦略基本目標に向けての進捗度評価についての検証の確認を行った。二日間にわたる研修の中で、多くの課題が山積していることがわかった。今後は要・不要・改善などの提言をし、各常任委員会との連携を深め、限られた財源の中で持続可能な行方市の構築の為、努力していきたい。



広報委員会で議論いたしました。

議会だよりのご意見として、なめがたエリアテレビにて放送されている議会中継について「一般質問を放映している際に、発言者を映していますが、そのほかの議場内の様子が分かるように、議場全体の画像などを挟んではどうか」などの中継内容についてのご意見等をいただきました。

これらの中継についてのご意見等について、委員会にて、議論した結果、現状の放送設備環境等では、ご意見、ご要望にお応えできない現状ですが、放送設備の改修等も含めて、今後も検討してまいります。

今後も貴重なご意見をお待ちしています。